

平成 26 年度 第 2 回 文化財保護委員会会議録

■日時：平成 26 年 12 月 23 日（火）午後 1 時 00 分から午後 5 時 15 分

■場所：東条原鎌倉街道、道仏遺跡、姫宮神社、郷土資料館会議室兼資料取扱室

出席者：島村圭一委員長、中村誠二委員、新井浩文委員、長谷川清一委員、冨澤鎮男委員
菊地正明委員、中村 豊委員
吉羽秀男教育長、佐藤賢治室長、河井伸一主査、小林絹三主任、横内美穂主任

会議次第

- 1 現地調査・視察
 - ① 久米原の鎌倉街道を歩く
 - ② 道仏遺跡の発掘調査現場見学
 - ③ 姫宮神社古墳見学
 - ④ 特別展「英文学者 島村盛助Ⅱ」見学
- 2 あいさつ
- 3 議題
視察研修のまとめ

会議概要

- 現地調査・視察
久米原の鎌倉街道を歩く、道仏遺跡の発掘調査現場、姫宮神社古墳見学
- 特別展「英文学者 島村盛助Ⅱ」見学
- 現地調査のまとめ（郷土資料館会議室）

調査経過

- 役場前に集合。庁用車 2 台で向かう。
- 久米原の鎌倉街道を歩く
 - ・鎌倉街道の発掘調査場所、大聖院（久米原学校跡）、鷲宮神社（久米原市）、子育て地蔵、宿場へ入るクラック、真蔵院の見学
- 道仏遺跡の発掘調査現場見学
 - ・道仏遺跡の発掘概要説明、見学
- 姫宮神社古墳見学
 - ・姫宮神社古墳見学終了後、郷土資料館へ向かう。
- 特別展「英文学者 島村盛助Ⅱ」の見学

会議録

あいさつ（吉羽教育長、島村委員長）

河井主査 島村委員長議事進行の方よろしくお願いたします。

島村委員長 それでは本日のまとめについてですが、鎌倉街道、鷲宮神社、真蔵院について、意見があればお願いします。

菊地委員 岩槻から杉戸に抜ける鎌倉街道のルートは分かっているのですか？

河井主査 だいたいですが分かっています。航空写真を見てもらうと、杉戸の高野の施餓鬼寺を通っていました。

研究者によっては宮代町域を通る鎌倉街道は2つのルートの説がありますが試掘調査の結果、道路の痕跡などから1つのルートに絞られています。年代によってはいくつも道があったことが分かっています。

鎌倉街道沿いの発掘調査場所では鎌倉街道の跡と思われる溝状の遺構や方形堅穴や井戸が見つかっています。方形堅穴というのは中世の鎌倉・室町・戦国時代に倉庫やお墓だったものです。

開発に伴う発掘調査というよりは学術調査みたいなものですから、遺構がたくさん出すぎて最後は確認状態にとどめました。遺構が多数確認されることなどから考えると、この辺りは宿場や大きな集落があったのは間違いないと思われます。

菊地委員 杉戸宿は上杉戸にあったと聞いていますが？

河井主査 宿場はなかったが上杉戸には集落がありました。入植の命令があり、上杉戸の人々は移住して杉戸宿をつくりました。

菊地委員 日光街道をつくる時に同時に杉戸宿もできたのですね。

河井主査 日光街道をつくる時に宿場が必要だったのでその時に杉戸宿ができました。大名などが宿場を通過するときに多くの荷物を家来が運ぶわけではなく、各宿場に伝馬が置かれ、25の人と馬を常駐させておくことが課せられ荷物を運んでいました。大名の輸送を円滑にするために宿場は置かれました。

菊地委員 その後、御成街道が造られたのですか？

河井主査 御成街道をなぜ造ったかというと、徳川家康の墓所を駿河の久能山から、日光東照宮に改葬した時に、直通する道として御成道は作られました。

中村誠委員 今回の視察のルートに鎌倉街道を設定した理由は何ですか？

河井主査 特に鎌倉街道を町として整備するというのではなくて、町民に鎌倉街道が通っていることを知ってもらいたい。この機会に文化財保護委員の皆様にも実際に歩いてもらって理解を深めていただくために、今回のルートを設定させていただきました。

新井委員 そういうことであれば、広く外部に発信し、鎌倉街道の簡単な案内をつくらせて配布等して欲しい。

横内主任 宮代町役場の観光の部署で市民ガイドが始まっているのですが、市民ガイドの方々が資料館の講座を受講されて活用されてるところもあるのですが鎌倉街道の関係も結構注目されて、実際にガイドウオークの練習で歩かれたとこの前、報告がありました。

島村委員長 市民ガイドの人数はどれ位ですか？

横内主任 活動しているのは20人程度と聞いています。

菊地委員 鎌倉街道について、杉戸町やさいたま市（岩槻区）他市町村との連携は？

島村委員長 今回の視察は景観も含めて見られたので良かったと思います。ここで皆さんに共通理解をしていただいて、今後の文化財保護の情報を発信していただきたいと思います。

島村委員長 それでは続いて、道仏遺跡と姫宮神社古墳について意見があればお願いします。

新井委員 道仏区画整理地内の公園の場所は既に決まっているのですか？

河井主査 全部決定しています。

中村誠委員 今回発掘調査したところの遺構が残っているところに公園を作る予定はありますか？

河井主査 ありません。道仏上遺跡の道路を残し道仏区画整理地内の道路は全て完成しました。

島村委員長 ここは道仏遺跡だったことを示す案内板を建てて、「道仏の遺物は郷土資料館へ行けば見られます。」という形にすれば、新しく道仏の住民にアピールできるのでは。

河井主査 先日、12月14日に行った道仏遺跡の発掘調査現地説明会ですが、参加者120名中、宮代町民だけで110人超えは初めてでした。

長谷川委員 先程、島村委員長からも話が出ましたが、地元にはこのような文化財があるということを知らせて、新しく引っ越してくる若い人たちにも啓発することも必要だと思います。

新井委員 公共の道仏集会所等で道仏遺跡で出土した遺物を展示したらどうですか？

河井主査 管理の問題があります。道仏区画整理事務所でも、展示する案がありましたが、管理の問題でやめました。

島村委員長 それではこの辺で宜しいでしょうか。事務局にお返しします。

佐藤室長 それでは、以上をもちまして、平成26年度第2回文化財保護委員会を終了させていただきます。